



## 主な内容

- P2 令和3年度事業 ピックアップ
- P9 常任委員会報告
- P12 市政を問う「一般質問」
- P20 6月定例会会期日程（案）

# 317億7,679万円

## ピックアップ

### 民間教育・保育施設給付事業

24億1,025万円

#### 【事業目的】

生涯にわたる人格形成の基礎となる幼児期の教育及び保育の提供を行う認定こども園並びに保護者の労働又は疾病などにより家庭において必要な保育を受けることが困難である就学前の子どもに対し、保護者に代わって保育をする保育所等に対して費用を給付することにより、児童の心身の健全な発達を図る。



#### 【事業内容】 対象となる施設

	国見	瑞穂	吾妻	愛野	千々石	小浜	南串山	計
保育所	5	4	3	2	0	3	3	20
認定こども園	2	0	1	2	1	1	0	7

【財源の負担割合】 国：50%、県：23%、市：26%、負担金：1%

(単位：園)

### 小・中学校施設整備事業

6億441万円

#### 【事業目的】

学校施設は、児童生徒が豊かな人間性を育むための学習において一日の大半を過ごす教育活動の場であることから、学校における児童生徒の危険回避や教育環境改善のため、施設の修繕・改修及び新增築を行う。

#### 【事業内容】

- ①小・中学校施設大規模改修事業
  - ・西郷小学校校舎屋上防水改修工事
  - ・国見中学校校舎屋上防水改修工事
  - ・吾妻中学校屋内運動場建具改修工事実施設計業務
- ②小・中学校施設単独整備事業
  - ・多比良小学校防球ネット改修工事(1期工事)ほか
  - ・児童生徒の危険回避や教育環境改善のため施設等の修繕
- ③小・中学校施設環境改善交付金事業
  - ・大塚小学校屋内運動場外壁等改修工事
  - ・南串第二小学校屋内運動場外壁等改修工事
  - ・吾妻中学校校舎外壁改修工事実施設計業務
- ④小学校公立学校施設整備事業
  - ・愛野小学校校舎増築工事〔令和3年度～令和4年度〕



愛野小学校校舎

# 令和3年度一般会計当初予算

## 令和3年度事業

### 観光資源整備・活用事業 **【新規】**

5,707万円

#### 【事業目的】

雲仙市内の地域資源を観光資源として整備・活用し、市内の滞在時間及び市内観光消費額を増加させる。

#### 【事業内容】

雲仙市内の新たな観光資源を創出し、市内の滞在時間及び市内観光消費額を増加させるため、活用プログラムの検討及び受入環境整備に取り組む。

- ・ 専門家を招聘し、国崎公園・田代原キャンプ場等の活用検討
- ・ 国崎公園でのキャンプ体験等
- ・ 栈橋設置に伴う測量・地質調査及び設計
- ・ トイレ改修に伴う設計
- ・ キャンプ場及び遊歩道の改修、整備



県立国崎半島自然公園（南串山町）

### 工場等設置奨励金支給事業

1億2,334万円

#### 【事業目的】

企業の事業規模拡大に伴う雇用機会の拡大や誘致企業の立地を促進するために、優遇制度を設け奨励金を支給する。

#### 【事業内容】

- ①工場等施設整備奨励金  
要件：投下固定資産総額1億円以上かつ新規雇用者10人以上など
- ②雇用奨励金  
要件：投下固定資産総額1億円以上かつ新規雇用者10人以上など
- ③地場産品加工奨励金  
要件：投下固定資産総額5,000万円以上かつ新規雇用者5人以上  
市内の流通業者及び生産者から購入した原材料費など
- ④物流費奨励金  
要件：投下固定資産総額1億円以上かつ新規雇用者10人以上など
- ⑤工場等立地奨励金  
要件：投下固定資産総額500万円以上かつ新規雇用者10人以上など



## 商工業活性化推進事業

3,950万円

### 【事業目的】

市内において創業し、新規に出店し、既存事業の持続化を図り、及びにぎわいを創出する事業に対し、助成を行うことにより、市内商工業者の活性化に寄与する。

### 【事業内容】

- ①創業支援事業：創業計画を策定し、市商工会の推薦を受けた事業
- ②新規出店事業：新規出店計画を策定し、市商工会の推薦を受けた事業
- ③持続化支援事業：経営計画を策定し、市商工会の推薦を受けた事業
- ④にぎわい創出事業：商店街等で実施される集客及びイメージアップに有効で、にぎわいに寄与すると認められる事業
- ⑤店舗兼住宅活用支援事業：店舗兼住宅の店舗と住宅の共用部分の分離に必要な改修工事
- ⑥コロナ対応事業：販路開拓等の取組、事業を継続する上で必要な感染防止対策等を行う事業 **【新規】**

## 市道・河川改良事業

8億6,522万円

### 【事業目的】

地域住民の安全確保を図るため、下記の事業等を行う。

- ・道路改良事業 31カ所
- ・河川改良事業 1カ所
- ・橋梁長寿命化事業及び市道舗装補修事業



### 【事業内容】

地区名	箇所数		総額(千円)
	道路	河川	
国見地区	4		42,000
瑞穂地区	5		94,000
吾妻地区	7		164,710
愛野地区	4		47,750
千々石地区	3		57,760
小浜地区	3	1	60,100
南串山地区	4		138,500
雲仙市地区	1		151,400
橋梁長寿命化ほか	(橋梁・舗装補修等)		109,000
計	31	1	865,220

## 政策事務費

667万円

### 【事業目的】

本市の持続的な発展に向け、社会情勢の変化や国において推進する新たな政策等に総合的に取り組む。



### 【事業内容】

- ①SDGs等推進事業 **【新規】**  
国の「2021年度SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業」の採択を目指し、国や関係機関との調整及び先進地への視察を行う。
- ②地域活性化起業人事業 **【新規】**  
都市部に所在する民間企業の社員を受け入れ、そのノウハウや知見を活かし、市民満足度を高めるため、デジタル（ICT、IoT等）を活用した施策の構築等を行う。
- ③高校魅力向上支援事業 **【新規】**  
市内の県立高校が行う魅力向上の取り組みに対し支援を行う。

## 観光団体等育成補助金 (新たな観光組織の設立に向けた取組)

1,442万円

### 【背景（地域からの声）】

雲仙市の観光施策を強力に推進し、選ばれ続け、観光産業の稼ぐ力を高め、市内の一次産業をはじめ多くの地場産業への波及効果を高める（以下「観光産業の高度化」という）ためには、新たに強力な組織を立ち上げ、高度な専門性を有する人材の配置を行い、自らも稼ぐことで、より盤石な財政基盤を構築しつつ、強力に観光地域づくりを推し進められる組織づくりが急務である。

### 【団体の設立目的】

本組織は、民間主導で立ち上げ、雲仙温泉・小浜温泉をはじめ、雲仙市全体の観光の一本化と観光産業の高度化を実現し、雲仙市全体のブランド力の向上により多様な産業への波及効果が高まり、持続可能な地域となることを目的とする。

## 新しく2つの条例を制定しました！



### 議案 第3号 雲仙市地熱資源の保護及び活用に関する条例

近年、複数の地熱開発事業者の動きが活発化している中、地熱資源を活用した発電事業にかかる地域への説明等の手続を定め、地熱資源の適切な保護及び適正な活用を図るため、条例が制定されました。

### 議案 第4号 雲仙市中小企業資金利子等補給基金条例

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第1項の規定に基づき、新型コロナウイルス感染症対策緊急経営安定化事業に要する費用に充てることを目的として、雲仙市中小企業資金利子等補給基金を設置することとし、同条第8項の規定により、基金の管理及び処分に関し必要な事項に係る条例が制定されました。

### 議案 第23号 動産の買入れについて

- 買入物件 雲仙市防災情報システム整備に伴う関連機器
- 契約の方法 随意契約  
(公募型プロポーザル方式)
- 買入金額 8,316万円
- 契約の相手方 パナソニックシステムソリューションズ  
ジャパン株式会社 九州社



# 討論

令和3年度各種予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）の審議において討論がありました。



## ◆一般会計 予算案

### 賛成 平野利和 議員

令和3年度一般会計予算案には、新型コロナウイルス感染症対策緊急経営安定化事業など含まれている。いち早く市民にいきわたり、一人も取り残さない大事な予算が組み込まれ一日も早く安心して生活できるような一般会計予算である。

### 反対 上田 篤 議員

第1はマイナンバーカード関連事業費として1億3,300万円もの金額を計上。便利になるのはほんの一部で、重要な個人情報の漏洩が必ず起きる。第2は高すぎる国保税引下げ施策が乏しいため市民生活は窮迫。法定外の繰入れを行うべきだ。

## ◆国民健康保険特別会計 予算案

### 賛成 大山真一 議員

医療費適正化対策において、糖尿病の合併症として発症する恐れのある閉塞性動脈硬化症の検査を行い、早期発見と予防に努めることで、疾病の重症化予防対策に取り組むことが計画されており、事業効果が期待できると思われる。

### 反対 矢崎勝己 議員

家族が多いほど負担額が増える現在の税（生きているだけでかかる税金）。生まれたばかりの赤ちゃんまでかかる均等割の医療費・後期高齢者支援分は廃止・改革も検討すべきだ。  
現在の国保税の約半額になる協会けんぽ並みに引き下げるべきである。

## ◆後期高齢者医療特別会計 予算案

### 賛成 大山真一 議員

少子高齢化が急速に進む中、現役世代の負担上昇を抑えながら、全ての世代の方々が安心できる社会保障制度を構築するためにも、後期高齢者医療制度は重要な医療保険制度であると考えている。

### 反対 矢崎勝己 議員

国民の暮らしや命を守るはずの医療保険制度が高齢者を苦しめており、高齢者を取り巻く環境は厳しすぎる。健康で長生きすることを応援する後期高齢者医療保険の制度設計のやり直しが必要である。

## みなさまからの

## 請願

新小浜体育館（仮称）の床材に関する請願があり、文教厚生常任委員会へ付託しました。  
[委員会審査の結果：不採択]

〈趣旨〉  
剣道競技の公式試合が開催（誘致）可能な床材（木材）への変更を求める。

〈提出者〉  
雲仙市剣道協会  
会長 佐藤 信秀

### 賛成 林田哲幸 議員

検討委員会の意見書には「九州大会や県大会を誘致することが可能な施設、柔道・剣道の武術競技も使用可能な施設とすること」と明記してあるが、剣道の公式試合を誘致できない。

事前に体育協会などへの説明や意見聴取をしなかった教育委員会の責任は大きい。

## 令和3年第1回雲仙市議会臨時会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案第1号	専決処分した事件の承認について（令和2年度雲仙市一般会計補正予算（第11号））	承認
議案第2号	令和2年度雲仙市一般会計補正予算（第12号）案について	原案可決

## 令和3年第1回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案第3号	雲仙市地熱資源の保護及び活用に関する条例の制定について	原案可決
議案第4号	雲仙市中小企業資金利子等補給基金条例の制定について	原案可決
議案第5号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	雲仙市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	雲仙市営住宅設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	令和2年度雲仙市一般会計補正予算（第13号）案について	原案可決
議案第9号	令和2年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）案について	原案可決
議案第10号	令和2年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案第11号	令和2年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案第12号	令和2年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案第13号	令和2年度雲仙市下水道事業会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案第14号	令和3年度雲仙市一般会計予算案について	原案可決
議案第15号	令和3年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について	原案可決
議案第16号	令和3年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案について	原案可決
議案第17号	令和3年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案について	原案可決
議案第18号	令和3年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案について	原案可決
議案第19号	令和3年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計予算案について	原案可決

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 20 号	令和3年度雲仙市水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 21 号	令和3年度雲仙市下水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 22 号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案 第 23 号	動産の買入れについて	原案可決
議案 第 24 号	守山高部辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案 第 25 号	桑田辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
議案 第 26 号	公有水面埋立てに関する意見について	原案可決
議案 第 27 号	市道路線の廃止について	原案可決
議案 第 28 号	損害賠償の額の決定について	原案可決
議案 第 29 号	農業委員会委員の任命について	原案可決
議案 第 47 号		
議案 第 48 号	令和2年度雲仙市一般会計補正予算（第14号）案について	原案可決
議案 第 49 号	令和2年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第 50 号	令和3年度雲仙市一般会計補正予算（第1号）案について	原案可決
諮問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
請願 第 1 号	新小浜体育館（仮称）の床材に関する請願	不 採 択
発議 第 1 号	雲仙市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決

## 賛 否 表

議席番号	議席番号																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
※本会議において否決及び賛否が分かれた議案について掲載しています。	結 果	表 決 数	藤本淳次郎	山本 松一	大山 真一	矢崎 勝己	渡辺 勝美	佐藤 義隆	林田 哲幸	坂本 弘樹	酒井 恭二	平野 利和	浦川 康二	上田 篤	町田 康則	大久保正美	小畑 吉時	元村 康一	小田 孝明	深堀 善彰
令和3年度雲仙市一般会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和3年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和3年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
新小浜体育館（仮称）の床材に関する請願	不採択	4:14	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●

○賛成    ●反対    ▲欠席    ※議長（松尾文昭）は、採決に加わらない。



カップル応援事業

**問** 令和2年度の実績はどうかっているのか。

**答** 0件である。

**問** 農業委員会主催で婚活イベントが実施され、1組が結婚まで繋がったと聞いている。農業者の間でも後継者不足で取り組みをされているところだと思っ

**答** 農業委員会に「世話やき隊」として活動してもらえよう、呼びかけてみてはどうか。農業委員会事務局と協議していきたい。

地域づくり推進課

自治集会所を避難所に

**問** 近年の災害発生状況を考えると、指定された避難所以外に自治集会所にも避難できるようにすべきではないのか。

**答** 危機管理室と相談し、やむを得ず指定の避難所へ避難出来ない場合は自治集会所に避難してもよいということ協議を行っている。



地域づくり推進課

社会保障・税番号制度  
システム整備事業

**問** システムを改修することにより何がどのように変更されるのか。

**答** マイナンバー法の改正によりシステム改修を行うものであり、改修後は、これまで本籍地でしか取得できなかった戸籍関係の証明書が本籍地以外の市町村でも取得できるようになる。また、マイナンバーカードについては、国外に転出した場合はカードが利用できなくなっていたが、改修後は引き続き利用できるようになる。なお、令和2年度から令和5年度までシステム改修を行い、令和6年度からの運用開始となる。

**問** システムを改修することにより何がどのように変更されるのか。

**答** マイナンバー法の改正によりシステム改修を行うものであり、改修後は、これまで本籍地でしか取得できなかった戸籍関係の証明書が本籍地以外の市町村でも取得できるようになる。また、マイナンバーカードについては、国外に転出した場合はカードが利用できなくなっていたが、改修後は引き続き利用できるようになる。なお、令和2年度から令和5年度までシステム改修を行い、令和6年度からの運用開始となる。

総合窓口課

ドクターヘリ離着陸  
用地の購入

**問** 用地は、市内に何カ所あるのか。

**答** 国見6カ所、瑞穂5カ所、吾妻2カ所、愛野2カ所、千々石3カ所、小浜7カ所、南串山2カ所を設置している。

**意見** 市民の安心安全のためにも市内全域にバランスよく設置するように。

**答** 今後、消防署や各一部組合とも相談しながら、一つでも多くのドクターヘリ離着陸用地を整備できるように取り組んでいきたい。



市民安全課

総務

委員会

委員長  
小田 孝明

副委員長  
町田 康則

松尾 文昭  
大久保正美  
坂本 弘樹  
矢崎 勝己  
藤本淳次郎

# 文教厚生

## 委員会

委員長	佐藤 義隆	元村 康一
副委員長	浦川 康二	小畑 吉時
		渡辺 勝美
		大山 真一

### 雲仙市地熱資源の保護及び活用に関する条例の制定

**問** 発電事業により、湧出量の減少もしくは極端に言えば枯渇に繋がるような結果を招く状況となった時は、どの時点で分かるのか。

**答** 日頃のモニタリング調査を行うことで、できるだけ早い段階で異変に気づけると考えている。それがいつ分かるのかというのは今の段階では判断が難しいが、今年度実施しているモニタリング調査を活用しながら、できるだけ早い時期に、異変の確認ができるような体制

をとる。

**問** 問題が起きると大変であることから、万が一そういう状況になったとき取り返しがつかないことにならないように、この事業を始めようとしていると思うが、どのように考えているのか。

**答** 当然、温泉を生業にしている事業者に影響がなくてはならず、取り返しがつかない状況にならないことを第一に考え、細心の注意を払い、そういう事態が起きない体制をとりながら進めたい。

環境政策課

### 工事請負契約の変更

**問** 雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事での浄化槽設備工事の契約変更について、議会の議決を得た契約においては、議決事項に変更があり、契約変更後の金額が地方自治法及び市条例で定める予定価格1億5千万円以上であれば、増額となる場合も減額となる場合も全て再度議決を受けなければならぬ。議決した事項に変更が生じているので再議決を受けなければならぬ。議決を要する契約事項変更の工事が、議会への適宜の報告、了承も得ていない中で工事が進められ、議決前に工事に着手できるのかという基本的なことに関し、契約変更に関する手続きが

**答**

雲仙市として適切に行われたか。今後、このような状態は、直すべきところは直す必要があるのではないかと。契約変更の再議決前に、着工してしまったということについては弁解の余地がない。助言をいただいたとおり、今後、市が行う手続きについては、もう少ししっかりと共通理解を図っていくべき事案だと考える。



スポーツ振興課

現年農地等災害  
復旧事業

**問** 21件のうち16件の取り下げによる減額補正とのことだが、どういう理由で大量の取り下げとなったのか。

**答** 農地の場合、補助残のうち、50%が個人負担となり、その金額を所有者に伝え、どうするか再度確認したところ、負担金が高額だということで、自分で補修をするから取り下げるという理由がほとんどだった。

農漁村整備課

観光資源活用事案による  
国崎公園の棧橋整備

**問** 過去に遊歩道が壊されたように台風や波などの心配があるが、どのような方法で進めていくのか。

**答** 棧橋の基礎を造る部分の地質や海流の影響等について調査を行い、具体的な工法については、調査結果を踏まえ、台風、潮、波に耐えるものを検討していく。



観光物産課

自治会からの市への  
市道改良申請書

**問** 「市道改良事業に係る調査測量及び用地に関する同意書」に用地に係る関係者の同意が全て揃っていないにもかかわらず受け付けているのか。

**答** 用地に関する全員分の同意書がなければ受け付けていないため、これまで受け付けた申請書も同意書は全て揃った状態で受け付けがなされている。しかし、測量設計を行った結果、地権者の想定よりも買収面積が広く必要となったことで難色を示されるケースや、地元の相続人代表者が同意をしても他の相続権利者の了承がどうしても得られず、結果的に契約に至らないケースは実情としてある。

道路河川課

水質検査

**問** どういう内容で、年に何回実施しているのか。

**答** 浄水場の原水や処理した分の全項目を年1回、省略項目として年3回、1施設に合計4回の検査を長崎県食品衛生協会に委託して実施している。また、浄水については、毎月省略項目を実施している。



水道課

産業建設

委員会

- 委員長 山本 松一  
副委員長 上田 篤  
委員 深堀 善彰  
平野 利和  
酒井 恭二  
林田 哲幸

# 市政を問う 14名の議員が一般質問



浦川 康二…… P 12	大久保正美…… P 15	元村 康一…… P 17
平野 利和…… P 13	林田 哲幸…… P 15	小田 孝明…… P 18
町田 康則…… P 13	坂本 弘樹…… P 16	上田 篤…… P 18
大山 真一…… P 14	酒井 恭二…… P 16	渡辺 勝美…… P 19
山本 松一…… P 14	矢崎 勝己…… P 17	

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

## 市長3期目の政治姿勢



うらかわ やすじ  
浦川 康二 議員

**議員** 雲仙市役所の力は

**市長** 市長3期目の重点施策への取組に対して、現在の雲仙市役所の力では市民の役に立つ成果が上げられない部分があると表明された行政分野は。

**市長** 新たな時代に即した行政手続きのデジタル化、観光振興、雲仙市の魅力をアピールする情報発信、再生可能エネルギーなどの課題を考えている。

**議員** 観光振興の官と民の役割分担は

**議員** 新たな観光組織、雲仙観光局（仮称）の設立に向けた取組みの中に、市の業務と役割分担を明確にし、専門性の高い組織を示されている

が、観光振興に対し、行政と民間の役割分担をどのように考えておられるか。

**市長** 市役所業務が時代の変化に即した観光振興に資する施策を立案し、観光団体の力をお借りしながら、一緒になって取組みを進めていくことが最善であり、また近道でもあると考えている。

**議員** 市長1期目の議会においては、行政が果たせる観光分野における役割は、やはり後方支援、バックアップしかないもので、行政の中で観光行政に関わる人員は少なくとも削減する方向で進めていくと答弁されていたが、官と民の役割分担の考え方は変わったのか。

**市長** 根本的な私の考え方は変わっていない。

**議員** 自治体の役割は、住民の福祉の増進を図ることが基本である。観光振興やエネルギー等の分野では、官と民の役割分担を見極めて、事業に挑戦されることを提案する。

## 子育て支援の充実を



ひらの 利和議員

**議員** 新聞記事を紹介する。子どもと一対一で過ごす時間が長くなると、ああだめだ。私何のために生きているのだろうという瞬間があるなど、今の産後ケア事業は、5カ月間程の利用が出来るようだが1年間に延ばして欲しいとの声があるが、対策は。

**健康福祉部長** 母子健康法の改正に併せて、令和3年度から出産後1年未満の女性及び乳児に改めるよう、現在準備を進めている。

### 不育症治療の支援を

**議員** 不妊治療は、全国的に取り組んでいるので認知はされているが、妊娠はしただけ子どもが育たない不育症

の問題がある。妊娠はするものの流産や死産を繰り返し、出産に至らない状況であり、検査によって原因が判明し適切な治療をすれば8割以上の患者が出産することができると言われている。検査や治療に高額な費用を必要とするため、出産を諦めるケースもある。流産するとおなかにいた子どもや夫に対し申し訳なく、自分を責める事もある。県も令和3年度予算案に不育症検査費用助成事業を計画している。市も支援する考えは。



**健康福祉部長** 県や他市の状況を調査研究をして、前向きに取り組んでいく。

## 雲仙市地域防災計画は



まちだ やすのり 町田 康則議員

**議員** 災害後の羅災証明書発行について、国の判定運用指針は曖昧な判定基準だと思う。熊本地震の時、地盤が大きく割れて、基礎や杭の一部がむき出しになった。建物本体に損傷は見られないが、住むには大規模な地盤改良が必要である。この時の判定結果は被害なしとなっていた。これは国の判定運用指針が液化を念頭にしているためである。又、熊本市や益城町で地割れや陥没など土地の被害状況で迷った時に、県や内閣府に助言を求めると、大抵は最後に市町村の判断でお願いしますと告げられたという。市でも判定基準を決めておくべきだ。

**市民生活部長** 被災した家屋の状況等で国の認定方法も見直されることがある。研修を行い羅災証明書の交付が迅速に行えるよう研究したい。

**議員** 防災計画には、職員は参集しなければならぬ、途中で人身事故等に遭遇した時は近隣の住民と協力し適切な措置を講じなければならぬと書いてある。12月議会で職員の自治会への未加入者は28人と聞いた。災害の時に近隣の住民と協力して人命救助などをしなければならぬのに、市職員が自治会にも入っていないければ住民は知らないだろうし、もちろん自治会の防災訓練にも参加していないだろう。それでは、雲仙市職員と言えるのか。市の職員がそういう意識を持たないのはおかしいと思わないのか。

**地域振興部長** 職員の意識は、指摘のとおりである。

# 新型コロナウイルス感染症対策



おおやま しんいち  
大山 真一 議員

## ワクチン接種体制は

**議員** 新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種はどのように計画されているのか。

**市長** 個別接種と集団接種の併用により円滑な接種体制の構築に万全を期すよう担当部局へ指示している。

**健康福祉部長** 個別接種については市内26医療機関で行う。また、集団接種は吾妻町ふるさと会館及び南串山保健福祉センターの2カ所で行う準備を進めている。

**議員** できるだけ多くの市民が接種を受けられるよう市当局の努力をお願いする。

## ごみ減量化の取組は

**議員** 雲仙市のごみ排出量は

は過去5年間の実績で増加傾向である。ごみ減量化についてどのように考えているのか。

**環境水道部長** 市民の意識づけを図るため広報紙に4R推進コーナーを掲載している。ごみの分け方・出し方説明会、環境学習の規模拡大、ストックハウスへの資源物搬入拡大に向け市民に積極的な働きかけを行う。

## バス停留所の整備は

**議員** 現状ではバス停留所の形態や設置者及び管理区分が様々であるようだが、利用される方の利便性を図るために整備希望の自治会等に対して何らかの支援策を講じられないか提言したい。

**地域振興部長** 既存の自治会設置バス停の支援は需要実態等を基に支援の必要性について自治会長連合会と協議したい。また、新たな設置希望の自治会等への支援は利用実態を基に設置の必要性を判断しバス事業者と協議したい。

# 独居老人の見守りは



やまもと まついち  
山本 松一 議員

**議員** 近所で独居老人の孤独死があったが、雲仙市の独居老人の世帯数は。

**健康福祉部長** 3482世帯である。

**議員** 市の緊急通報装置貸与者は320人だが、他県では、AI(人工知能)スピーカーを導入している。その内容は。

**部長** 山形県川西町では、人の音声を認識でき、AIが質問に答えて、暮らしの中で様々なサポートが期待されている。テレビ電話機能付スピーカーを老人世帯に配布し活用している。

**議員** AIスピーカーは、WiFi環境が必要だが、操作は不要で、話しかけるだけで、災害情報、家電操作など体の不自由な方にも便利である。見守り機能もあり会話も

できるので認知症予防効果もある。市の光ファイバー網普及と合わせてSDGsの事業としてAIスピーカーの導入を願う。

**部長** 他市の動向にも注視して研究したい。

## コロナ禍の支援対策は

**議員** GOTOキャンペーン停止による宿泊客のキャンセル数は。

**観光商工部長** 2月19日現在で2万2500人であった。

**議員** 予約の9割がキャンセルになり、従業員も休ませている旅館もあるが、宿泊業と併わせ、酒や野菜、魚、肉、土産物の中小事業者への支援と従業員の雇用継続支援は。

**部長** 年度末の支援を実施し、4月以降は状況を踏まえ補正予算で対応したい。国の雇用調整助成金には市でも上乘せ補助を行っている。

**議員** 経営者も従業員も苦しい状況なので雇用維持のために積極的な活用を願う。

## 市長等の責任問題



おおくほまさみ  
大久保正美議員

### 繰り越しの本当の理由

**議員** 前回の定例会時に多比良港工業団地に関する繰越明許費について、約1億3000万円という大きな額を繰り越した理由を質問し、場内道路の施工箇所と排水計画の検討に時間を要し、標準的な工期日数の確保が不可能になったためであると答弁を受けた。

しかし、本当の繰り越し理由は、県との事前協議において県の承認を得るのが遅れたためであり、答弁において、その事実を隠していたのではないのか。

**市長** 答弁した内容のほかに、都市計画区域内の開発行為に係る県への申請手続きが

遅れたことも繰り越した要因の一つである。

**議員** 本会議で質問した日以前に、市は県へ事前協議の申し入れをしているのだから、答弁の際にその経緯を答弁するべきである。事前協議の遅れを隠すために、答弁しなかったのか。議会を軽視している。

**観光商工部長** 答弁の中で県への申請手続きが遅れた部分を答弁できず、大変申し訳ない。

**市長** 申請手続きに関する認識が不足していたことから、皆さまに不信感を与えることになり、深くお詫びする。

**議員** 正確な答弁をしなかった市長や担当部長の責任問題はどうか。

**市長** 自身の処分の考えについては、雲仙市職員分限懲戒審査会において、職員の処分が審査されることになるので、その審査結果を踏まえ適切に判断していく。

## 体育館床材に配慮を



はやしだ  
林田  
てつゆき  
哲幸議員

### 新小浜体育館の床材

**議員** 建設中の新小浜体育館の床材が塩化ビニール製のシートと聞いて、雲仙市剣道協会から相談があった。「剣道は裸足で行う競技で、足の裏の感覚を重視するものであり、材質が大変重要。また、剣道試合・審判規則では、試合場の基準で、床材は板張りを原則とする」ということだが、何とかならないのか。

**教育長** 体育館等の床材については、床からはく離れた床材による負傷事故について、消費者庁の消費者安全調査委員会による調査が進められてきた。報告書によると、体育館の床の一部がはく離し、腹部に突き刺さり重症を

負う等の事故が平成18年度から平成27年度までの間に7件確認をされたこと、また当該

事故は新しい体育館でも発生しているなど、同様の事故が発生するリスクはあらゆる体育館に存在するとされている。この床材がはく離する原因は清掃時等における想定以上の水分の吸収及び乾燥の影響が考えられており、体育館の床板のはく離による負傷事故の防止対策をより一層推進するよう、文部科学省及びスポーツ庁より通知も発出されている。このようなことから、新しい体育館においては、スポーツ競技者だけでなく、幼児からお年寄りまで幅広い年齢層と併せて、障害のある方の利用も考え、安全に利用してもらうことを念頭に置き、総合的な視点から、はく離がなく水拭きもできる衛生的な長尺シートを採用した。

## 雲仙グリーンロードの整備



さかもと ひろき  
坂本 弘樹 議員

### 広域農道の管理は

**議員** 雲仙グリーンロードのアスファルトの損傷がひどく、運転しづらい。補修計画は。

**市長** 通称雲仙グリーンロードは、平成11年度の事業完了後、長崎県から各町に譲与され、現在雲仙市が維持管理をしている。本市の基幹道路であり通行に支障がないよう安全性の確保に努める。

**農林水産部長** 昭和54年度事業計画時の交通量は2314台と計画されていたが、平成30年度の調査では1万2058台の通行があり、平成11年度から14年度にかけて、計画交通量の見直しによる舗装の改良工事を県主体で実施し



雲仙グリーンロード

た。令和3年度より国の補助事業を活用し舗装の状態を正確に把握するための路面性状調査と調査結果に基づいた維持補修計画の策定を行い、同事業を活用し舗装のみではなく路盤材の改良も含めて、事業を行っていききたい。

**議員** 道路敷の竹木の重機を使用した伐採工事も必要だろうが、春先の竹木が若いうちに人よっての伐採も取り入れてはどうか。

**部長** 令和3年度より農道等の維持管理のため、会計年度任用職員2名を配置するよう予算計上している。伐採作業を計画的に取り入れたい。

## 果敢な施策の実行を



さかい きょうじ  
酒井 恭二 議員

**議員** 現在、実証実験中の新公共交通チヨイソコウんぜんを軌道に乗せ、市内全域への導入を目指すとのことだが、現状と課題は。

**総務部長** 収支については、運賃収入だけでなく、事業者からスポンサー料を頂くことでこれまでよりも採算性のある運営が可能である。

**市長** 現状の乗り継ぎの問題等、もつと実証実験をやり、もつと便利にすれば、もつと使って頂けるのではないかと、いう可能性を感じている。その後、市全体にどう広げるか、ということになると認識している。

**議員** 行革推進委員会より適正な職員数は現在の計画より22名多い最大で411名と

いう答申がなされたが。

**部長** 専門的な知識があれば現状よりも事業の推進が見込めると考え、まずは専門的な知識を有する者を募集し採用する計画である。

**議員** 新型コロナワクチン接種の対象者数は。

**健康福祉部長** 国が定めた接種順位ごとの内訳は、65歳以上の高齢者が1万5千人、16歳から64歳まで接種対象者が2万7000人である。

**議員** 市の接種体制で十分な量のワクチンが確保されれば、どれくらいの期間で全対象者に接種可能なのか。

**部長** 集団接種は高齢者で1カ月半から2カ月、それ以外の人で4カ月程度、概ね6カ月と予定している。

**議員** ワクチン接種は集団免疫の観点から多くの接種が望まれるので、若者への接種勧奨が必要では。

**部長** 接種の目的は、重症化予防とまん延防止にあるので、周知の方法を考えていく。



## 高齢者の共同生活支援



やぎき かつみ  
矢崎 勝己 議員

**議員** 高齢者共同生活支援の推進について、施設の充実と周知はどのようになっているのか。

**市長** 高齢者の利用に配慮した住宅の確保が必要であり、有料老人ホーム等の整備も進んでいる。また一定の要件があるが養護老人ホームや高齢者生活支援ハウスへの入所支援を行っている。高齢者支援のための相談体制の充実を図っていく。

**健康福祉部長** 市内には養護老人ホームが3カ所、高齢者生活支援ハウスが3カ所あり、ホームページや高齢者福祉等に関する情報誌を窓口等に設置し周知をしている。

### 福祉医療支援の見直し

**議員** 子ども福祉医療における現物給付と償還払いの違いの説明を。

**市長** 本市の子ども福祉医療については、助成対象を中学生まで引き上げ、就学前の乳幼児の支払方法を医療機関の窓口で一定額のみ負担してもらおう現物給付を行っている。小学生以上の子どもについては、一旦、医療保険の自己負担分を支払ってもらい、領収書を添付し、市の窓口へ申請してもらおう償還払いの方法をとっている。

**議員** 県内でも18歳まで拡大しようとする自治体が増えている。本市も再考を求めている。

### 学校給食費の無償化

**議員** 学校給食費の無償化を検討してもらいたい。

**教育長** 学校給食費の無償化は、財政的に実現は難しい。

## 小浜町内公民館の今後



もとむら やすかず  
元村 康一 議員

**議員** 市公民館等の適正化方針により、市内19カ所が対象となり、内10カ所が小浜町内の施設で、今後は自治会が実費負担し運営するようになるという厳しい内容であるが、地区全体で集まる場所がなくなる事は地域の疲弊に繋がるのではとの思いから止むなく受ける事になった。現在協議中の富津漁民センター、山領公民館、北串住民センターには建設時の特殊事情があり、3地区の要望内容は当然だと思う。住民の意を酌んだ結果を出されるよう強く求める。

**市長** 特殊事情や声も承知している。この事を踏まえ、市民の理解を得るよう努める。

### 市所有の源泉の管理は

**議員** 市源泉(鉱泉地)の土地賃付料として2軒の旅館から固定資産相当額を徴収しているが実際の土地の所有者は各旅館の代表者となっている。半世紀前の小浜町時代に町長と旅館が交わした契約書では、町が県から掘削許可を受けた地番内に各旅館が自己費用で温泉1本を掘り湧出した時は鉱泉地1坪を分筆し町に無償寄付し所有権移転登記手続きを行うとなっているが、現在まで解決されていない。所有権移転が難しいのであれば、適正価格で売却する事も一つの解決方法では。

**市長** 半世紀にわたり未解決であり、大変難しい問題であるが解決に向け努力する。

**総務部長** 売却する方法は有効な手段の一つであり、法的整理を行い売却も含め解決に取り組む。

## 市民に大切な下水処理



おだ こうめい  
小田 孝明 議員

赤字でも滞納してもトイレや浴場は止められない

**議員** 雲仙地区浄化センターの使用料と処理費用は瑞穂、吾妻、千々石地区の浄化センターに比べて差があります。

**市長** 旅館、ホテルの浴場水も処理するなど、他の処理場がない特殊性がある。

**環境水道部長** 令和元年度の使用料収入は3568万3千円、運営費が8037万9千円である。

**議員** 使用料滞納が平成28年度853万円、令和元年度686万円を不納欠損処分している。その分は市の負担と

なるので経営者に支払うよう強く対応すべきである。

**部長** 今後滞納になった場合は、極力出向いて不納欠損にならないように努力する。

**市長** 料金徴収は指摘されたような意識を持って徴収に当たるように指導したい。現在浄化センターの改築更新を進めているが、現在の処理水量に合わせた処理能力にして電力量の削減、一部自動化による省人化にも取り組んでいる。将来的には処理水量、処理能力に応じた機器も選定し維持管理とのバランスを加味し自動監視通報装置等も検討して運営費の縮減に向けた研究を進める。

下水道使用料については、将来予想される事業等も踏まえて今後設置予定の「雲仙市水道料金及び下水道使用料審議会」の中で意見を求めて料金体系を研究していく。

## 扶養照会は義務でない



うえだ あつし  
上田 篤 議員

生活保護の扶養照会の改正を

**議員** コロナ禍の下、解雇され失業した人が増えている。今こそ「生活保護制度の本領」を発揮すべき時だ。

まず、生活保護の扶養照会とは生活保護を申請する時に援助ができるかどうかを福祉事務所が親族に問い合わせるものだが、生活保護を利用すべき人が、これを「家族に知られたくない」という理由で諦める元凶の一つになってきた。田村厚生労働相は「扶養照会は義務ではない」と初めて明言した。

扶養照会によって実際に金

銭的な援助につながった件数は、2017年度で3万8000件中6000件(約16%)。膨大な手間をかけても1%程度しか本人への援助に結び付いていない。

**市長** 本市の保護相談の特徴は、高齢者や障害者からのものが多い。本年2月26日付で厚生労働省から実施要領等の一部改正が通知された。内容は、いまの時代や実態に沿った形で扶養照会等の運用ができるように見直されたものである。相談にあたっては、丁寧に生活歴を聞き取り、個々の保護相談者に寄り添って対応したい。

**健康福祉部長** 調査の方法は金銭的な扶養の可能性のほか、精神的な支援の可能性について確認をするものとき、扶養義務者に書面により回答期限を付して照会を行うものである。

## 重すぎるランドセル



わたなべ かつみ  
渡辺 勝美 議員

**議員** 最近の子どものランドセルの重さは、5kg〜7kgある。保護者の話では、両手にはサイドバッグを持っており、中身は体操服そして水筒、音楽に使う楽器合わせると10kgになる。具体的な内容の答弁を求めます。

**教育長** 児童生徒の通学時の安全の視点や負担軽減の観点から、携行品の重さや量の指導がなされてきた。過重な負担が常態化しているようであれば、至急、市内小中学校には改めて指導を徹底していきたい。

**議員** 使わない教科書など置いて帰る「置き勉強」や平均して持っていきける時間割を組んでもらえないのか。

**教育長** 両手が塞がっているれば、登下校の交通安全上も危険な場合がある。安全面にも配慮した携行品の在り方と

いうのを学校の方に呼びかけていきたい。

### 農業後継者対策は

**議員** 親元就農者には直接の支援金がない。本市は農業が主産業であり、農業後継者に安定した収入を保障するため、「食の安全」を守る観点から、一定の行政の指導が必要である。最低、新規就農者の月額5万円、年間60万円を最長2年間、雲仙市独自の支援策として考えることができないのか。

**副市長** 農家戸数は減少の一途であり農業後継者を確保することは重要な課題である。

**議員** 農家の減少対策が本市の少子化対策の大きな施策の一つと考えるが。

**市長** 親元就農は産業に関わらず後継者を確保することは、地域の活性化や経営の発展など、大変期待ができる。有効的かつ効果的な支援となるか、様々な産業の意見も聞きながら情報収集を行うとともに、関係機関とも連携して将来的に支援ができないか研究していきたい。

## 傍聴者の声

### 令和3年第1回定例会を傍聴して

町議会の時、1度傍聴したことがありましたが、市議会は初めての経験でした。まず脱帽したのが、質問される議員さんはさすがに資料準備万端で、すごく勉強されているということです。

いろいろな質問がある中で3つのことが印象に残りました。

- ①より効率的な職員配置の必要性
- ②新築工事に対しての市と議会との万全な話し合いの上での決定の必要性
- ③人口減少対策のための“結婚奨励金”について、市民の説得力の必要性  
(特に③に関しては、女性の視点からの意見もほしいなと思ったりしました)

マスクをかけての議論なので、聞き取りにくさが残念でした。その分、今までよく見ていなかった「議会だより」を今度こそ、しっかり読もうと決意した一日でした。

皆さんも傍聴してみてもいいですか？

雲仙市婦人会 前南串山婦人会会長 浦田美保



# 議会を傍聴してみませんか？

令和3年第2回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は  
**6月10日（木）～7月2日（金）**です

■一般質問 6月14日（月）～ 6月17日（木）

■議案質疑 6月21日（月）

■委員会

文教厚生常任委員会 6月22日（火）

産業建設常任委員会 6月22日（火）・23日（水）

総務常任委員会 6月23日（水）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。

※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。



## 編集後記

昨年からのコロナ禍で感染症対策と経済支援対策が行政の課題として取り組まれています。市議会でもその対策予算などの議案審査が行われて来ました。

まだコロナ終息の見通しは立っていませんが、重症化予防に効果が期待されるワクチン接種が始まっています。集団免疫獲得のため多くの人がワクチン接種を受ける事が望まれるところです。

市民皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

（大山真一）



議会広報編集特別委員会

委員長 平野利和

副委員長 大山真一

委員 林田哲幸、佐藤義隆

矢崎勝己、藤本淳次郎

## 人事案件



あらき みちこ  
荒木美智子氏



もり た さとこ  
森田 聡子氏



しんどう たかしげ  
進藤 喬薫氏



やまぐち まさひこ  
山口 政彦氏



いのうえ よういち  
井上 洋一氏



わたなべ ひろこ  
渡邊 博子氏

人権擁護委員

令和3年7月1日～令和6年6月30日



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。